

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	10 04 01	中期総合計画主要施策番号	1-01,2-02,3-09, 5-06,5-07,5-09	担当課	部・課	建設部 道路建設課	
事業名	道路橋梁新設改良事業 (公共【道路建設】)			内線	3421		
				E-mail	michiken@pref.nagano.lg.jp		
実施期間	T8 ~	根拠法令等	道路法12条、13条、15条、42条				
実施方法	県が直接実施					国庫・ 県単	補助公共

  

事業の概要等	目的 (必要性)	道路整備を推進し、道路ネットワークを構築する。都市部の渋滞緩和、産業振興や観光支援、地域活性化、医療・福祉など安全、安心な暮らしの確保を目指す。				
	対象	県内の道路利用者				
	目指すべき姿	・道路整備により道路改良率の増加を図る。(H24までに道路改良率を65.9%とする。) ・道路整備により高速交通網を30分以内に利用できる市町村数の増加を図る。(H24までに利用可能な市町村数を62市町村とする。) ・道路整備によりイライラハラハラ箇所対策事業の着手率の増加を図る。(H24までに着手率を100%とする。)				
	事業内容	・長野県で管理する国・県道のバイパス建設、橋梁建設、トンネルの建設、道路の拡幅等の道路整備。 【補助率：国4.5～5.5/10 県5.5～4.5/10】 ・交通の障害となっている箇所の局部改良。(突角の改良、踏切の改良、待避所設置等)				

  

事業コスト	区分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳
	最終予算額 (A)	千円	25,870,692	23,554,342	15,771,000	(H24への繰越額: 8,307,129千円)
	決算額 (B)	千円	17,625,358	15,247,213		
	B(H24はA)のうち一般財源	千円	800,681	1,091,478	723,100	1箇所当たり平均工事期間 (国道11年・地方道6年)
	概算人件費	人	163.54	224.28	150.17	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)	千円	17,625,358	15,247,213	15,771,000	

  

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	左記以外のH23年度実績
	事業実施箇所数(国道)(活)	箇所	34	35	30	23年度完了箇所数12箇所 (国道5箇所、地方道7箇所)
	事業実施箇所数(地方道)(活)	箇所	51	53	49	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 1箇所当たりの事業費	千円/ 箇所	207,357	173,264	199,633	(効率指標算出式) 概算事業費 ÷ 箇所数

  

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価		評価区分
	・道路改良率は65.3% (H23.4.1現在)とする。 ・高速交通網を30分以内に利用できる市町村数を62市町村とする。 ・イライラハラハラ箇所の着手率を93.5%とする。		・道路改良率は65.6%となり、期待どおりの成果が得られた。 ・高速交通網を30分以内に利用できる市町村数が62市町村となり、期待どおりの成果が得られた。 ・イライラハラハラ箇所の着手率が93.5%となり、期待どおりの成果が得られた。		<b>b</b> 期待どおり

  

事業の課題	区分	判定・説明			
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり	
事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり	・線形改良や市街地の渋滞解消、中山間地における医療・福祉向上など暮らしに直結する道路整備に対しニーズは依然高い。 ・道路法で指定区間以外の国道及び県道の整備は県で行うものとされている。 ・引き続き新技術・新工法を採用してコストを縮減するとともに、重点化・効率化により事業期間を短縮し、早期供用に努める。	

  

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	中期総合計画の主要施策「道路ネットワークの整備」における主要な取組みであり、23年度においては概ね期待どおりの成果が得られたものの、幹線道路及び生活道路の整備に対する県民ニーズは非常に高いため、コスト縮減等により引き続き早期の効果発現をめざす。				
	特記事項	県内の道路延長は全国第5位であるのに対して道路改良率の65.6%は35位であり、十分な改良が進んでいない状況である。				